



Business Report

第79期 事業報告書

2025年4月1日～2026年3月31日



代表取締役社長

曾谷 太

Futoshi Sotani

株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より格別のご心配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、第79期の営業成績の概況等をご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善するなかで政府による各種政策の効果もあり、国内景気は回復の兆しを見せ始めている一方、海外では各国での金融引き締めや、中東情勢悪化及びウクライナ侵攻問題の長期化によるエネルギー・資源価格の大幅な上昇、長期的な円安傾向、物価や金利の上昇、中国の不動産不況などによる経済活動や個人消費への影響から、当社グループの経営環境は、先行き不透明な状況が続くものと想定しております。

当社グループは、経営環境の変化が激しく不確実性が高い時代において、当社グループが有する独自の技術や情報を生かしつつ、製商品の差別化及び高付加価値化に鋭意取り組むとともに、今後の更なる成長が期待されている関係業界や新たな市場に対する当社グループの存在価値を高め、事業の強化を図ってまいります。特に、当社グループが重要な関係業界と位置付けている半導体・高速5G通信・デジタル光学機器などの電子機器業界や、益々IT化と自動化が進む自動車業界では、技術革新のスピードが速く、今後の見通しも難しいことから、継続的に様々な情報の収集に努め、スピーディーな経営判断を常に心がけてまいります。更に、安定した需要が見込まれる機能性食品、再

生医療用に設計・開発した材料を用いた化粧品、食品機能性材料を使ったアイスクリームを含んだデザート、産学連携で取り組んでいるバイオマテリアル及び次世代材料の早期上市を目指しております。

今後も、こうした状況を正確かつ的確に把握し、グループの総合力を効果的に発揮できるよう、コーポレート・ガバナンスの強化とスピーディーな経営判断を心がけ、業績の向上に動しむことで、株主の皆様のご期待にお応えできるよう、努力を重ねてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

経営理念

当社は積極的なビジネス展開を進め
常に知恵を生かしながら
「お客様にとってなくてはならない」存在として
付加価値の高い製品 サービスを提供し また
地球環境の保全を重要な使命の一つであると認識し
真に社会に貢献できる企業となることを目指しています

SOMAR's Mission Statement
Driven by the desire to make valuable contributions to society, we leverage our business acumen to provide high value-added products, goods and services as an indispensable partner who recognizes the importance of protecting the environment.

SOMAR Corporation



社会が求める価値観の多様化・細分化が進む中、「知恵を生かす」という経営理念のもと、社会に役立つ新たな製品や技術の創出に努めつつ、地球環境の保全や、人々の安全・安心と豊かさに繋がる次世代技術にも果敢に挑戦し、企業価値の向上、適正な株主還元に取り組んでまいります。

◆ 事業の内容

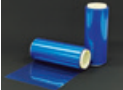


【メーカーと商社2つの顔を持つソマル】

企業が課題とするテーマが高度化・複雑化していく中、多様化する社会のニーズに応えるため、当社は「メーカー機能」と「商社機能」を併せ持つ企業として、相互の機能を有効に活用し、お客様がかかえる課題の解決に向けて、適切な提案ができるよう努めております。

今後も、お客様とともに課題を解決していく良きパートナーとして日々精進してまいります。



【事業セグメント】

	高機能材料事業	主な製商品：コーティング製品、高機能樹脂製品、電子材料、機能性樹脂等
売上高： 22,546 百万円 (前年比 7.1%増)	営業利益： 2,554 百万円 (前年比 3.7%増)	モバイル市場・半導体関連市場を中心に、電子機器業界向け製商品の販売が堅調に推移したことに加え、HEV・BEVの増産を背景にEV関連向け製商品の販売が好調を維持した結果、売上高・営業利益が増加しました。
	環境材料事業	主な製商品：工業用殺菌剤、防腐剤、防カビ剤等
売上高： 5,987 百万円 (前年比 10.9%減)	営業利益： 198 百万円 (前年比 12.4%減)	紙パルプ技術協会の「佐々木賞」受賞を契機に増加した多機能凝結剤・歩留剤への引き合いを受注に繋げるべく各種施策を推進したものの、製紙業界各社の生産調整等を受け減少した売上をカバーするには至らず、売上高・営業利益が減少しました。
	食品材料事業	主な製商品：増粘安定剤（グァーガム等）、乾燥野菜、香料等
売上高： 2,589 百万円 (前年比 3.1%増)	営業利益： 128 百万円 (前年比 8.5%減)	増粘安定剤分野は一部品目で競争が激化するなど予断を許さない状況が続いたものの、乾燥野菜分野は業務用加工食品向けの需要が底堅く推移したことに加え、商材の拡充や新規商材の拡販といった施策が奏功したことにより売上高は増加しましたが、エネルギーコスト及び原材料価格の上昇等の影響により、営業利益は減少しました。

◆ 連結財務諸表

連結貸借対照表

(千円)

科目	前連結会計年度 2025年3月31日現在	当連結会計年度 2026年3月31日現在
【資産の部】		
流動資産	22,733,389	26,371,614
固定資産	8,238,900	8,849,513
有形固定資産	4,628,280	4,789,752
無形固定資産	113,213	120,113
投資その他の資産	3,497,407	3,939,647
資産合計	30,972,290	35,221,128
【負債の部】		
流動負債	*8,919,983	5,925,325
固定負債	1,879,291	6,959,803
長期借入金	1,000,000	6,000,000
資産除去債務	69,291	82,543
繰延税金負債	270,831	373,196
退職給付に係る負債	5,330	5,995
その他	533,837	498,067
負債合計	10,799,274	12,885,128
【純資産の部】		
株主資本	16,382,707	17,675,591
資本金	5,115,224	5,115,224
資本剰余金	4,473,939	4,473,939
利益剰余金	6,857,108	8,151,777
自己株式	△63,564	△65,349
その他の包括利益累計額	3,790,308	4,660,407
純資産合計	20,173,016	22,335,999
負債純資産合計	30,972,290	35,221,128

* 前連結会計年度の流動負債には、「1年内返済予定の長期借入金 4,000,000千円」が含まれております。

連結損益計算書

(千円)

科目	前連結会計期間 2024年4月1日～ 2025年3月31日	当連結会計期間 2025年4月1日～ 2026年3月31日
売上高	30,363,512	31,200,216
売上原価	23,795,859	24,384,174
売上総利益	6,567,652	6,816,041
販売費及び一般管理費	3,997,355	4,211,610
営業利益	2,570,297	2,604,431
営業外収益	213,130	224,191
営業外費用	73,052	117,425
経常利益	2,710,375	2,711,196
特別利益	*1 657,937	-
特別損失	29,089	*2 278,403
税金等調整前当期純利益	3,339,224	2,432,793
法人税等合計	752,629	944,314
当期純利益	2,586,595	1,488,479
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,586,595	1,488,479

*1 前連結会計期間の特別利益は、「投資有価証券売却益 657,937千円」であります。
*2 当連結会計期間の特別損失は、「減損損失 278,403千円」であります。

連結キャッシュ・フロー計算書

(千円)

科目	前連結会計期間 2024年4月1日～ 2025年3月31日	当連結会計期間 2025年4月1日～ 2026年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	1,539,698	2,042,886
投資活動による キャッシュ・フロー	△288,051	△961,924
財務活動による キャッシュ・フロー	859,595	954,102
現金及び現金同等物に 係る換算差額	523,378	299,402
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	2,634,620	2,334,466
現金及び現金同等物の 期首残高	6,343,663	8,978,283
現金及び現金同等物の 期末残高	8,978,283	11,312,750

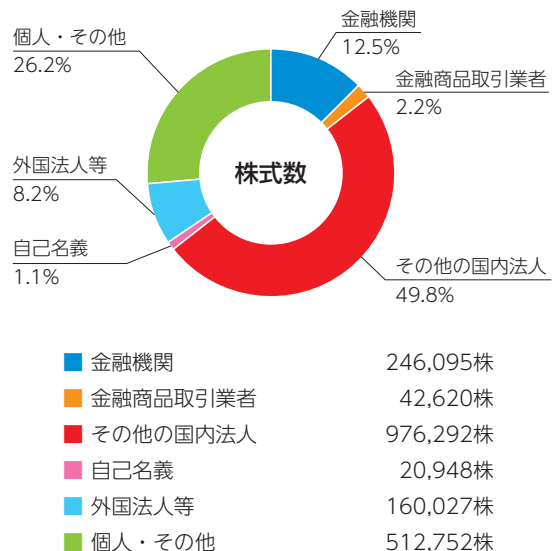
◆ 株式の状況 (2026年3月31日現在)

発行可能株式総数 6,000,000株
発行済株式の総数 1,958,734株
株主数 1,534名
大株主

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社ナガツタコーポレーション	638	32.9
多摩興産株式会社	237	12.3
株式会社三井住友銀行	89	4.6
INTERACTIVE BROKERS LLC	65	3.4
有限会社龍和	57	2.9
秋元 利規	50	2.6
株式会社日本カストディ銀行	48	2.5
三菱UFJ信託銀行株式会社	47	2.5
株式会社三菱UFJ銀行	42	2.2
ソマール従業員持株会	27	1.4

(注) 持株比率は自己株式(20,948株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



◆ 会社概要 (2026年3月31日現在)

商号	ソマール株式会社
英文商号	SOMAR CORPORATION
設立	1948年2月26日
資本金	5,115,224,639円
発行済株式数	1,958,734株
従業員	連結 464名 単体 308名

◆ 役員 (2026年6月26日現在)

代表取締役社長	曾谷 太樹
常務取締役	小林 正成
常務取締役	牛尾 成幸
取締役	関口 久昇
取締役	坂本 孝史
取締役	春日 史子
取締役	島田 俊彦
常勤監査役	今井 原 晴
監査役	亀山 信史
監査役	中島 玲

(注) 1.取締役坂本昇氏、春日孝之氏及び島田史子氏は、社外取締役であります。
2.監査役亀山晴信氏及び中島玲氏は、社外監査役であります。

◆ 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.somar.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



当社は、歌舞伎俳優の十代目松本幸四郎氏プロデュースブランド【凄艶®(せいえん)】の第二弾「とろみ水美容化粧液」の販売を開始いたしました。

保湿成分「P-ポリマー」とタイ産の無農薬金薊から取れる「ゴールデンシルクエキス」を配合し、リッチなとろみテクスチャーのジェルの中には、保湿・美容成分を含んだ海藻由来カプセルを配合。肌に伸ばすとカプセルが自然と溶け、保湿・美容成分を角質層まで届け、内側からふっくらと満ちるようなうるおいを感じていただけます。

ぜひともお買い上げいただき、お試しください。

- ・凄艶ブランドサイト
<https://seien-cosme.com>
- ・ECサイト
<https://shop.seien-cosme.com/>

